

2023 年 3 月 13 日

選手所属団体 御中

公益社団法人 日本ローイング協会
強化委員会

シニアカテゴリーにおけるナショナルチームの考え方について

標題の件につき、「2023 年シーズン強化方針(JARA2022 年 12 月 5 日発 2022-289 号)」に基づき、我が国の国際競争力向上に不可欠である選手・コーチ等の国際経験を積む機会を創出することを目的とし、ナショナルチームを『A 代表』『B 代表』『C 代表』に識別することとします。

○シニア ナショナルチームの考え方

<目的>

A 代表:オリンピック競技大会、世界選手権に向けた強化を図る

B・C 代表:未来の A 代表となるべく次世代選手に日本代表として国際大会を経験する機会を創出し継続的な強化を図る

<代表の識別>

強化方針内では『A 代表』『B 代表』での識別を検討していたが選考フローや代表選手の取り扱いの明瞭化を考慮し『A 代表』『B 代表』『C 代表』で識別することとした。

<対象となる国際大会>

現在は以下の大会を想定としているが『B 代表』『C 代表』については選手の評価レベルに沿った国際大会を設定していく。

A 代表:ワールドカップ第 2 戦、3 戦、世界選手権、アジア競技大会

B 代表:ワールドカップ第 2 戦、3 戦、インターナショナルレガッタ(欧州開催)等

C 代表:インターナショナルレガッタ(欧州開催)等

<選考方法>

A 代表:3 月 16 日～18 日 SBS 本戦結果、4 月 17 日～19 日評価レースにて選出

B 代表: //

C 代表:3 月 16 日～18 日 SBS 本戦結果

男女スカル C ファイナル以上から強化委員会が選出する

男女ペア 原則、A ファイナル進出者から強化委員会が選出する

<活動>

A 代表:ナショナルチーム選出後、JARA 強化が示す強化スケジュールに沿って活動

B 代表:ナショナルチーム選出後、選手所属団体との調整を行いスケジュールを決定し活動

C 代表: //

<活動期間>

翌年度ナショナルチーム強化活動開始時期まで(2023年シーズン→2023年11月ごろまで)

<指導体制>

A代表:ナショナルチーム指導

B代表:ナショナルチーム指導および各所属からのサポートコーチ

C代表:ナショナルチームと連携したうえでの各所属からのサポートコーチ

<費用負担>

A代表:負担金規定に準じる(JARA規定)

B・C代表:自己負担

<代表選出のタイミング>

A代表:2023年4月20日頃

B代表:2023年4月20日頃

C代表:2023年3月20日頃

※B、C代表の活動については代表選出後速やかに各所属団体との打ち合わせを行います。

<併願選手の取り扱い>

・シニアカテゴリー、WUG・U23カテゴリー併願選手の取り扱いは以下の通り示す。

シニアカテゴリーA代表、WUG・U23ナショナルチーム入りの場合はシニアA代表活動を優先とする。

シニアカテゴリーB・C代表かつWUG・U23カテゴリーでのナショナルチーム入りの場合はWUG・U23カテゴリーでのナショナルチーム活動を優先する。

<強化方針との紐づけ>

B代表、C代表の取り組みは、以下に記す『2023年シーズン強化方針』に密接に紐づき、方向性の決定、代表選手選出以降の活動を通し所属団体・ナショナルチームとの意見交換を繰り返すことで、より『アスリート育成パスウェイの構築』『組織の強化』の視点でさらにより良い関係構築を目指すものとする。

- ・1-2 代表チームの識別
- ・2-1 オープン、スweep種目の強化
- ・2-2 オープン種目におけるアジアの強豪国を目指す
- ・3-1 サポートコーチ制度の拡充
- ・4-1 継続強化
- ・4-2 所属団体との定期的なミーティング
- ・5-2 国際レースへの積極派遣

<考え方> ※2023年1月～2月の間関係団体とのディスカッションを踏まえて決定

本取り組みにおける考え方を以下の通り整理する

- ・アスリート育成パスウェイの構築に向けた取り組みとしていく。
- ・B代表は評価レース進出をリスペクトし能力的にA代表に近いためワールドカップ第3戦まではA代表と同等のプログラムを予定していく。
- ・C代表は年齢制限をなくし、能力を評価することで公平性を保持する。

- SBS、評価レースの順位・評価を優先する。
- C代表はA/B/Cの識別だけでなく、『Challenge(挑戦)』『Cantera(サッカー競技における育成組織)』の頭文字ともリンクし未来のA代表を育成・強化するシステム、プログラムとなるべく運用を目指す
- 国際競技大会についてはナショナルチーム・日本代表として派遣する。
- 派遣する大会については選手のレベルにフィットした大会を選択する
C代表のレベルが高まることでワールドカップ出場なども検討する。
- A/B/C代表と同じ方向性で強化メソッドを展開する。
(一貫指導体制、A代表へのスムーズな移行、関わる支援メンバーの育成・強化など)
- B・C代表の運営、指導に各所属団体とナショナルチームとの関係性がさらに強固なものとなる可能性を秘めており、より良好かつWIN=WINをキープし信頼関係の醸成を高めながらチーム一体となった事業推進を目指す。

<強化・育成システム 概念図>

